

ご自由にお持ち帰りください

近畿中央病院広報誌

きんき

110

2020.05

- Hot Topics：甲村病院長就任のご挨拶
- スタッフ紹介：高島循環器内科医長／肉のおはなし
- 新任医師の紹介
- にしおか内科クリニックを紹介します！



公立学校共済組合 近畿中央病院
〒664-8533 兵庫県伊丹市車塚3-1

TEL 072-781-3712 (代表)
URL <http://www.kich.itami.hyogo.jp/>

発行責任者／病院長 甲村 英二
発行／近畿中央病院 広報委員会
発行月／2020年5月 第110号



病院長就任の挨拶

4月1日より前任の有田憲生先生を引き継いで病院長を務めます甲村英二です。私は昭和54年に大阪大学を卒業した脳神経外科医です。平成14年から令和2年3月までは神戸大学で教育・研究・診療を行ってきました。兵庫県下の医療事情については精通しております。私は広く脳神経外科疾患を取り扱いますが、専門とする領域は脳腫瘍、脳血管障害の外科治療で、神戸大学でこれまで多くの手術を手掛けてきました。私と同時に大阪大学関連施設より脳血管内治療専門医、脳神経外科専攻医も着任しており、新しいスタッフのもとで脳神経内科とともに脳神経系疾患に対して幅広く医療を提供することができるようになりました。

さて、新型コロナウイルスによる感染症が大変な勢いで広まっています。一般に感染症が生じるには、3つの要素が必要といわれます。「病原体」、「感染経路」、「宿主」の3つです。感染症への対策、治療はこの3つの要素の一つでも取り除いていくことです。今回の「病原体」である新型コロナウイルスに対する治療薬やワクチンがあればよいのですが、残念ながら目下のところは確立されたものはありません。したがって、残りの2つの要素への対策が必要です。過労を避け睡眠を十分にとるなど、「宿主」の抵抗力を高めることも重要と思われれます。現在のような状況でもっとも効果的とされるのは、やはり「感染経路」の遮断になります。手洗い、手指消毒、咳エチケット、マスク、換気などが基本的に奨励されています。密閉、密集、密接、の3密を避けることも、集団発生につながる感染経路を断つことを目指したものです。さらには封じ込めとして行われる感染者の隔離も感染経路の遮断です。

新たな感染症が世界中で急激な勢いで広まって死亡者も多数出ているために社会の注目が集まり、社会的にも様々な対策が必要とされています。この感染症を制御・克服することは重要ですが、他の疾患に対する医療が完全停止してはいけません。近畿中央病院では感染症に対する「感染経路」の遮断に職員一同留意しながら、通常の診療を可能な限り提供できるように尽力いたしますのでよろしく申し上げます。



こうむら えいじ
病院長 甲村 英二

新任医師の紹介

～今年度より新しく着任した医師をご紹介します～

にしのおき
西野 鏡雄 脳神経外科部長



歴史ある近畿中央病院へ勤務させて頂く事になり大変光栄に存じます。卒後20年以上の大半は脳血管障害を中心に研鑽を積んでまいりました。脳卒中の予防や救急対応、脳血管内治療の充実を目標としております。

しみずしげき
清水 重喜 病理診断科部長



数年の内科医としての経験があり、臨床医目線での病理診断を心がけています。国内外の高名な呼吸器病理医から指導を受けた経験があります。専門を呼吸器病理としていますが、十分な一般病理の経験を有し、コミュニケーションを重視した診療を行います。

ふたみゆう
二見 悠 呼吸器内科医長



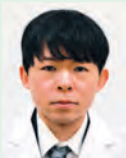
呼吸器内科で勤務させて頂く事になりました二見 悠と申します。地域の皆様の健康、生活、人生に少しでも寄り添えるような診療を行っていきたく思います。どうぞ宜しくお願い致します。

かじはらあきこ
梶原 亜紀子 免疫内科医長



本年4月より免疫内科医長として勤務させて頂きたくこととなりました。膠原病、アレルギー疾患を専門に診療しております。患者様にわかりやすい説明を心がけて診療に取り組みますので、よろしくお願ひいたします。

なかにしゆうや
中西 雄也 皮膚科医長



本年4月より皮膚科医長として勤務させて頂きたくことになりました。地域医療に貢献できるよう努めてまいります。精一杯頑張りますので何卒よろしくお願ひします。

えいのだいすけ
永野 大輔 放射線治療科医長



放射線治療科の永野大輔と申します。がん治療における放射線治療の役割は大きくなっています。一人一人の患者さんに合わせた高精度な放射線治療を通じて体への負担の少ない治療を目指していきたいと考えております。

いくたたくぞう
生田 武蔵 救急科医長



初期研修でお世話になった病院で働かせていただくことになりとても嬉しく思っております。地域医療に貢献できるように頑張りますのでよろしくお願ひいたします。

あずまこうじ
東 浩志 呼吸器内科医員



本年4月から呼吸器内科医員として勤務させて頂くことになりました。少しでも地域の患者様のお役に立てるよう尽力いたします。どうぞよろしくお願ひいたします。

ごとう あつし
後藤 厚 内科医員



本年4月より消化器内科レジデントとして勤務させて頂くこととなりました。地域医療に貢献できるよう日々努力したいと思いを。どうぞよろしくお願ひいたします。

きむら わかな
木村 稚菜 内科医員



4月から腎臓内科レジデントとしてお世話になります。至らない点も多いと思ひますが、何卒ご指導の程、宜しくお願ひ致します。

ささき あやこ
佐々木 絢子 内科医員



本年4月より当院脳神経内科レジデントとして勤務させて頂くこととなりました。まだ5年目で至らない点も多々あると思ひますが少しでも患者さんのお役に立てればと存じます。今後ともよろしくお願ひ致します。

うえだ ひろき
植田 大樹 外科医員



4月より勤務させて頂くこととなりました外科後期レジデント3年目の植田大樹（うえだひろき）と申します。まだまだ至らない点はあると思ひますが、患者様に向き合ひ丁寧な診療を心がけて頑張ります。宜しくお願ひいたします。

てらにし くまさ
寺西 邦匡 脳神経外科医員



はじめまして、平成28年度卒の寺西邦匡と申します。卒後急性期病院を2病院わたり、この春から近畿中央病院へ赴任となりました。今後当院が伊丹市内における脳外科診療の中核病院にすべく頑張り参ります。

おかむら なおや
岡村 直哉 産婦人科医員



本年4月から産婦人科レジデントとして勤務させて頂くこととなりました。至らないことが多くご迷惑お掛けするかと思ひますが、精一杯頑張りますのでよろしくお願ひします。

みもと たまみ
三本 珠未 眼科医員



昨年度までは阪大病院で眼科研修をしていました。少しでも患者さまに安心してもらえるような診療ができるよう頑張りたと思ひます。他科の先生方にもお世話になることが多いと思ひますが、宜しくお願ひ致します。

いこま まきこ
生駒 麻紀子 内科医員



本年4月より免疫内科レジデントとして勤務させて頂くことになりました生駒麻紀子と申します。まだまだ至らない点ばかりではございますが、地域の皆様のお役にたてるよう精一杯精進して参ります。何卒宜しくお願ひ申し上げます。

みやもと あいこ
宮本 愛子 内科医員



近畿中央病院、大阪大学医学部附属病院での初期研修を修了し、今年度より再び本院で勤務させて頂くことになりました。患者さまのお役に立てるよう精一杯頑張りますので、よろしくお願ひ致します。

くにや けんた
國屋 研斗 内科医員



近畿中央病院での初期研修に引き続き、呼吸器内科レジデントとして勤務することになりました。至らない点が多くあると思ひますが、精一杯頑張りますので何卒宜しくお願ひ致します。



近中スタッフ紹介

このコーナーでは、近中スタッフの多彩な側面を紹介しています。

肉のおはなし

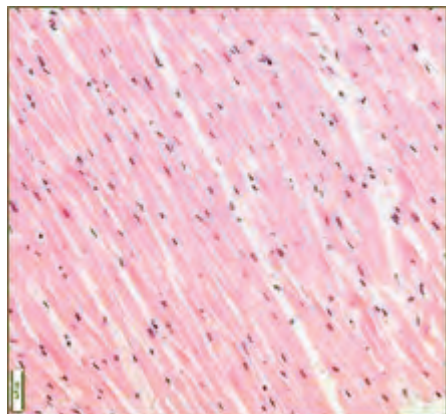
循環器内科医長 高島 聡士



循環器内科医は日々、心筋への血流を考えて生きています。心筋は骨格筋と同様、収縮力を生み出すアクチンやミオシンなど、さまざまなタンパクで構成されています。血流を絶たれ心筋が崩壊した際にはトロポニンやクレアチンキナーゼといった特徴的なタンパクが血液検査で検出され、これらの上昇を認めれば心筋梗塞を疑って、場合によっては一刻を争って緊急カテーテル検査・治療に取り掛かります。

人間、休むのも重要です。仕事後や休日には、しばしばコスパ良好でフォトジェニックな店の食べ歩きに出かけます。熟成肉を売りにしている店、熱帯魚が優雅に泳いでいる喫茶、鉄骨や配管が丸見えだけれどもコスパ良好なフレンチ。こういったおしゃれな店では時に聞きなれないメニューも見かけます。例えば、真空調理した肉。キッチンの裏では、白い衣装をまとったコックさんが、何らかの魔法を駆使して調理しているに違いありません。

真空調理法—それは分子ガストロノミーと呼ばれる分野のひとつで、緻密な温度制御によって生み出される現代の調理方法です。炭水化物、タンパク質は熱の影響を受けて化学反応や分子の立体構造の変化を起こすため、調理によりダイナミックな変化を生じます。こと肉



📷ヒトの心筋100倍に拡大

に関しては40℃でミオシンが変性をはじめ、66℃でアクチンが変性を始めます。その間の温度であれば、アクチンは変性されていない“半生”の肉が出来上がるわけで、鶏の胸肉など、焼くとパッサパサで不人気な肉であってもジュージューに仕上がりに、喜んで食していただけるわけです。実際には真空パックした食材を数時間60℃程度で湯煎するだけなので、家庭でも比較的たやすくできる魔法といえます。筋肉の中のタンパク質もいろいろな分野で研究されていて興味深いですね。



近中ねっとなわーく

近中では、地域の医療機関と機能や役割を分担しながら、患者さまに継続した医療を提供しています。このコーナーでは、当院と連携している医療機関をご紹介します。

にしおか内科クリニック

院長：西岡 清訓 先生

診療科 呼吸器内科、消化器内科、外科

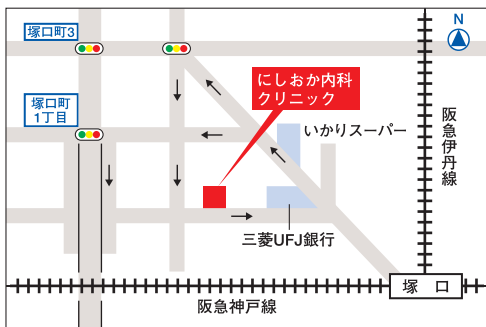
〒661-0002 兵庫県尼崎市塚口町1丁目18-20

☎ 06-6423-3300

	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前診 9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	—
午後診 16:00~19:00	○	○	○	—	○	—	—

※診療受付時間は9:00~11:30、16:00~18:30

※初診受付時間は9:00~11:00、16:00~18:00



呼吸器、消化器外科医として約18年にわたり近畿中央病院で勤務した後、2018年5月7日、にしおか内科クリニックを開院いたしました。場所は阪急塚口駅北口より北西に徒歩3分、遠谷眼科さんの真向かいのマンションの1階です。クリニックの特徴としてはCTを備えており、受診当日に撮影できます。CTは特に呼吸器疾患（肺がん、肺炎など）や急性腹症（胆石症、腹膜炎、虫垂炎など）の診断に威力を発揮します。その他には、眠っている間に終わる鼻からの胃カメラ、痔の日帰り手術、アテローム、脂肪腫など皮膚のできものの日帰り手術、喘息、COPD、肺炎、逆流性食道炎、胃潰瘍、高血圧、高脂血症の診断治療、肺がんドック、胃がんドックなどが行えます。